

日刊 動労千葉

87. 2. 5

No. 2470

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五、六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

弾劾「連動」要求の首切

第五回支部代表者会議を開催

動労千葉は、二月三日第五回支部代表者会議を開催し、国鉄をめぐる情勢は重要な段階をむかえ、国鉄労働運動解体攻撃は熾烈さを増す一方で、その脆弱性をさらけだしている中で、動労千葉・松崎、その手先右翼腐敗分子・土屋粹らとグルになった運輸部長・斉藤、車務課長・村上らによる動労千葉破壊と、そして「意思確認書」の結果に焦り恐怖する動労・鉄労らの御用組合は「もつと首を切れ」と絶叫している。この悪辣きわまりない攻撃を断じて許さず闘いぬく取り組みについて意志統一をはかり、中江選挙闘争とともに次のとおり伝達した。

御用組合「一企業一組合」は破綻

「意思確認書」の結果がだされた。
動労革マル・松崎や鉄労は、希望退職など三本柱を組合員に強要し、国労・動労千葉を破壊するために、分割・民営に反対していることをもって「差別をしろ」と要求したり、労働者を売り渡す「仲間をさす」など労働者としてやってはいけない犯罪行為を行ってきた。彼らと一体となった当局は恫喝でダメなら「処分」だと乱発し、労働者・労組に屈服を迫ってきた。それは、職場を地獄と化し、九〇名もの犠牲者をだし、五万人もの労働者がすでに職場からたたきだされた。
にもかかわらず、動労千葉・国労の不屈に闘う労働者が健在し、動労総連合をも結成し、彼らが目論んできた御用組合「一企業一組合」は破綻してしまつた。この結果に恐怖した改革労協は、「国鉄労働者のクビをもつと切れ」と当局に要求

新事業体への雇用安定などをめぐって、緊急申し入れ

国鉄改革労働組合協議会
志摩好達議長（鉄労組合長）
福原福太郎事務局長（動労前書記長）

「二万五〇〇〇人の要員規模を確保するためには、一部では、国鉄改革に敵対している者までも新事業体に移行させざるを得ない状況が生みだされている。これは、第二次労使共同宣言にもとる」
「このような事態に対して、改革協としては、二万五〇〇〇人の要員枠そのものの是非を含めて、正直者が馬鹿を見ない対処方を要求する」

しているのだ。

どう見ても労働者を敵に売り渡す、労働者として絶対に許すことのできない行為である。

さらに、松崎や土屋らと結託し、自分の点数稼ぎだけを目的に動労千葉破壊の策略に執着している輩がいる。昇職試験、転換教育などを利用して「脱退」し組織破壊を行う。脱退すれば新会社へ残れるなどの甘言でたぶらかし労働者として人間として最も卑劣な「裏切り」を強要してきている。不当労働行為をくり返す運輸部長、車務課長を徹底糾弾し、当局とともにうごめく「本部」土屋一派を徹底的に弾劾し追いつめ、解体し、心ならずも脱退した者達へ、労働者としての自覚をうながし、仲間として、ともに闘うよう説得・追及行動を行っていく。

二月中旬の選別をもつて脱退工作などの組織破壊攻撃はさらに激化するであろう。御用組合「鉄道労連」などの矛盾も満天下になる。真に労働者の権利を守る労働運動、労働組合はどこであるかも鮮明となる。であるが故に、われわれは、断固として組織を守りぬき、労使協調「全労協」・労戦統一（産報化）と対決する労働運動を構築する。

○当面する取り組み○

2.10 動労千葉 団結集会

千葉市民会館 17時半～

☆ 14日 金町上映会 13時半～

金町地区センター

☆ 25日 サークル協賛伝大会

☆ 26日 中江昌夫を励ます会

☆ 2・28 全国鉄労働者集会

御茶の水 第二電波ビル

よ！ 粉碎せよ！ 攻撃を組織破壊で団結の強固な家族組合員